

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。



協力：風早活性化協議会

こんにちは！風早地域のあちこちに、たくさん花が咲く季節（きせつ）だね。小さな花にもへーそうなんだってお話があるんだよ。ウラ面もチェックしてね！

## めざせ！ トンボ博士(0)！

写真をよく見てあかいの正解だと思う方のやじるしに進んでね！

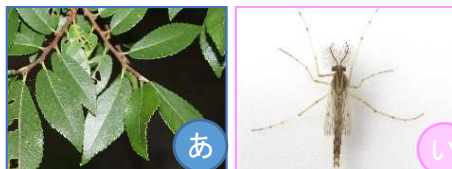
はかせどきみのトンボ博士度が、はんでいけるよ！

(武智礼央)

①トンボはどっち？



④トンボはどっちを食べる？



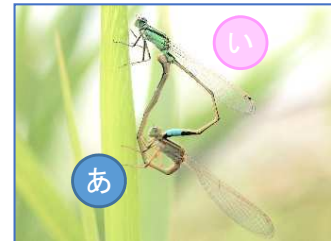
葉っぱ

ユスリカのなかま

②シオカラトンボのメスはどっち？



⑤アオモンイトトンボのオスはどっち？



交尾(こうび)しているところ

③オオキトンボの幼虫はどっち？



⑥オオキトンボはどっち？



いりてんぼのついでに  
あかしのついでに  
いりてんぼのついでに  
あかしのついでに  
いりてんぼのついでに  
あかしのついでに  
いりてんぼのついでに  
あかしのついでに

いりてんぼのついでに あかしのついでに いりてんぼのついでに あかしのついでに

博士度ランキング発表！

## 海ごみのおはなし④

### ビーチクリーン

英語で海岸(かいがん)のことをビーチ、そうじのことを、クリーンといいます。

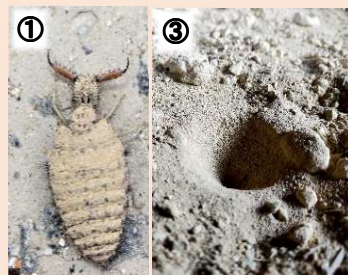
ビーチクリーンをしている、北条ブルーレンジャーのみなさんに出会いました。季節や天気によりますが、月に2回くらい活動しているんだって。2月27日には、13人が1時間かけて、もえるごみ19ふくろ、もえないごみ2ふくろをひろいました。ビーチクリーンをすると、スッキリした気持ちになるそうです。手ぶくろをして、火ばさみを使います。きけんなものが落ちているかもしれないので、子どもは大人とビーチクリーンしてね。

海岸からプラスチックごみがなくなるとうれしいな！



## あのムシは今?! [アリジゴク]

アリジゴク(写真①)は、ウスバカゲロウ(写真②)の幼虫です。巣穴(写真③)にアリが落ちることが多いので「アリジゴク」と呼ばれています。成長したアリジゴクは砂の中にまゆを作ってサナギになり、羽化すると砂の中からはい出し、翅(はね)をのばしておしりから一つぶのフンをします。「トイレは大人になってから…」なんですね。(若山勇太) (写真: 武智礼央)



## まつぼっくり? コレクション \*メタセコイア\*



化石で見つかるだけで、ぜつめつした植物と考えられていましたが、1945年に中国で発見(はっけん)されました。今では、公園などに植えられています。葉は鳥の羽のような形で秋になると赤茶色にこうようします。まつぼっくりのような実は2センチくらいで、実のすき間に、羽のあるタネが入っていました。

今が旬！生きもの情報

まじめな「フグリ」のお話

イヌノフグリ VS オオイヌノフグリ・タチイヌノフグリ・フラサバソウ

4つともオオバコ科というなかまの越年草（えつねんそう）だ。

春にかわいい花を咲かせるので、ルーベなどでじっくり観察するとおもしろいよ。イヌノフグリはむかしからいる在来種（ざいらいしゅ）なんだけど、道ばたや畑など身近なところにはオオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、フラサバソウといった外来種が目立つようになってきたよ。気が付くと、イヌノフグリは外来種に追いやられてしまって、愛媛県では絶滅（ぜつめつ）が心配されているんだ。風早地域で、イヌノフグリを探してみよう！

フグリとは「陰のう」のこと。イヌノフグリの果実（かじつ）の形がオス犬の陰のうににていることから名づけられたんだ。「陰のう」は、「タン、タン、タヌキのキン〇〇」というキン〇〇のことだ。大きな声で「フグリ」などとさけんではいけません。十分注意（ちゅうい）してください。でも、おもしろい由来（ゆらい）の名前だからおぼえてね。

	在来種	外来種		
和名	イヌノフグリ	オオイヌノフグリ	タチイヌノフグリ	フラサバソウ
原産地	日本	ヨーロッパ	ヨーロッパから アフリカ	ヨーロッパ
茎	立つかほう	ほう	直立	斜上あるいはほう
花の色	うすいピンク	コバルトブルー	青色	うすむらさき
果実				
渡来年代	一番大きい	明治初年	明治中期	明治初期



風早の山

宅並山（たくなみさん）200m。光洋台東の駐車場（ちゅうしゃじょう）から600m。30分ほどで登れます。スイセン、ツバキ、ツツジ、フジ、栗井小の子どもたちも植えたサクラ、アジサイなど季節の花がむかえてくれて、鹿島や海岸線が美しいのぞめます。河野氏出城（でじろ）跡（あと）でながめは最高。こんもりしていてサクラが咲くとピンクになります。

今月の植物★ハコベ



花びらは5枚ですが、深く切れこんだ♡形なので、10枚に見えます。古い時代に日本にやってきました。若葉は食用となります。小鳥のエサにもなるので、ヒヨコグサともよばれます。

ちょっと  
いっぴく

手おし  
くみあげ  
ポンプ



河野小学校で発見（はっけん）。50年くらい前にはどの家にもありましたが、今ではほとんど見られなくなっています。最近では停電（ていでん）など災害（さいがい）の時にも使えるので、見直されています。ただし、地下水位（ちかすい）が高くないと使えません。

そうやったんかい！ 外来生物 ㊸



チャコウラナメクジ

庭や畑でもっともよく見るナメクジは、1950年代に日本にやってきたチャコウラナメクジ。頭のうしろに甲羅（こうら）があります。昔からいるナメクジは絶滅（ぜつめつ）が心配されています。